

新刊図書の紹介

『河川における外来種対策の考え方とその事例 —主な侵略的外来種の影響と対策—』

本書は、外来種影響・対策研究会において、河川の現場で活用されることを意図して、外来種対策の考え方、主な侵略的外来種の特徴と具体的な対策事例をまとめたものです。

各現場において地域住民等と連携、協力して外来種対策を講じるにあたり、「河川における外来種対策に向けて(案)」とあわせて、本書を参考にさせていただきますようお願いいたします。

《主要目次》

●外来種対策の考え方

1. 外来種対策の考え方
2. 広報・啓発
3. 予防措置
4. すでに進入した外来種への対応
5. 調査・研究

●河川における主な侵略的外来種の特徴と対策事例

ハリエンジュ、アレチウリ、オオバタクサ、セイタカアワダチソウ、ホテイアオイ、シナダレスズメガヤ、ネズミムギなど（花粉症の原因となる主なイネ科植物）、ブルーギル、オオクチバス、コクチバス

なお、外来種問題を考える子供向け小冊子として『川の自然をみつめてみよう—河川に侵入する外来種』も発刊しました。本書は無料配布（但し、送料負担）です。



平成15年8月発行

編集：外来種影響・対策研究会

発行：(財)リバーフロント整備センター

定価 1,200円（税込み）

A4判・92頁 ISBN 4-947726-30-X

[問い合わせ先]

財団法人リバーフロント整備センター

研究第4部担当：野谷・池田・根本

TEL (03) 3265-7121 (代表)

『河川を活かしたまちづくり事例集Ⅱ』

本書は、全国各地で行われている河川を活かしたまちづくりの先進的な取り組み事例について、事業の構成や整備の分担など具体的な内容を取りまとめたもので、平成14年8月に発行した「河川を活かしたまちづくり事例集」の続編です。今回は、河川とまちの整備概要及び大都市の事例を中心に取り上げましたが、今回は、中小都市を中心とした事例及び河川整備とその空間利用に関連する制度を中心に紹介しています。

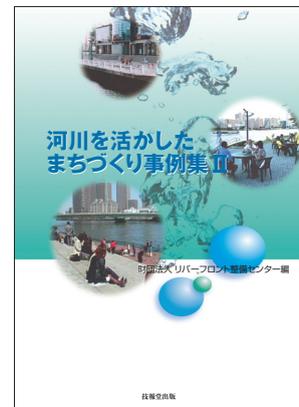
＜主な内容＞

○紹介する事例地区

1. 北海道旭川市 忠別川/駅南地区
2. 青森県弘前市 腰巻川/城東第四地区
3. 秋田県横手市 横手川/羽黒町地区
4. 群馬県前橋市 寺沢川/ぐんまりハビリパーク地区
5. 石川県七尾市 御成川/府中町地区
6. 長野県松本市 女鳥羽川/縄手地区
7. 静岡県沼津市 狩野川/上土町地区
8. 島根県松江市 斐伊川(宍道湖)/松江湖畔地区
9. 山口県宇部市 真綿川/山口大学医学部周辺地区
10. 愛媛県松野町 広見川/虹の森公園地区
11. 鹿児島県国分市・隼人町 天降川/出会いの広場地区

○都市内の河川整備の取り組み

1. 河畔整備事業
2. 総合設計制度と河川
3. 条例などによる河川環境形成
4. 河川敷地の包括占用許可
5. 河川空間を活かした賑わいづくり
6. 河川立体区域制度



平成16年3月発行

編集：(財)リバーフロント整備センター

発行：技法堂出版(株)

定価：2,520円（税込）

A4版：126頁